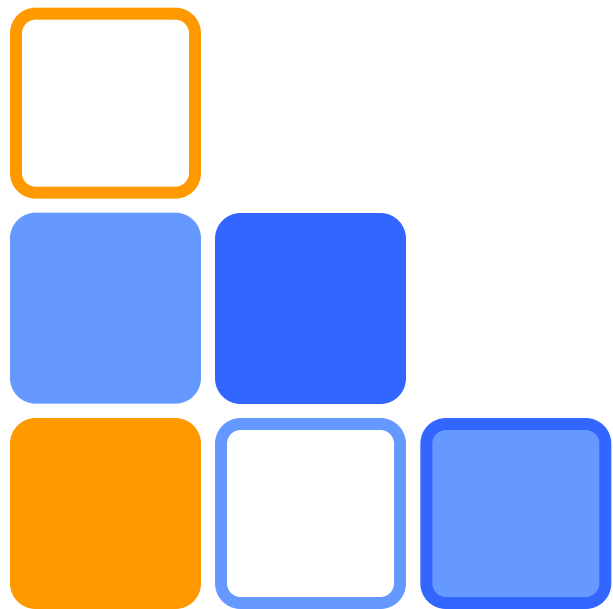
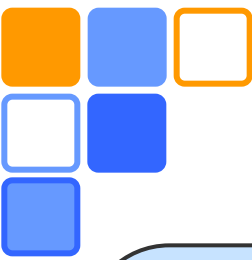


開かれた電気通信大学 を目指して



電通大ナビゲーター

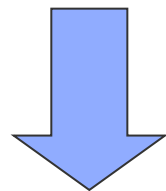


今回の目的

現在電気通信大学は，外部の人からは各々の場所で何を研究しているのかが容易にわからない。
閉ざされた状況である…



西2 入口

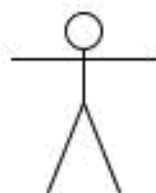


そこで・・・

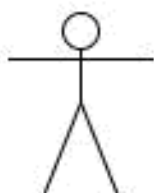
来校者に対して電気通信大学の魅力をたくさん伝え，
知ってもらい，アピールできるような方法を考える。

開かれた状況を目指す！

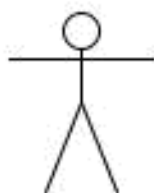
対象範囲



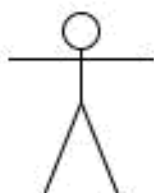
受験生



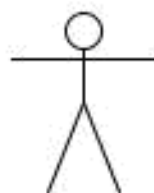
在学学生



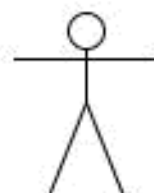
他大の学生



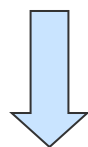
近隣の方々



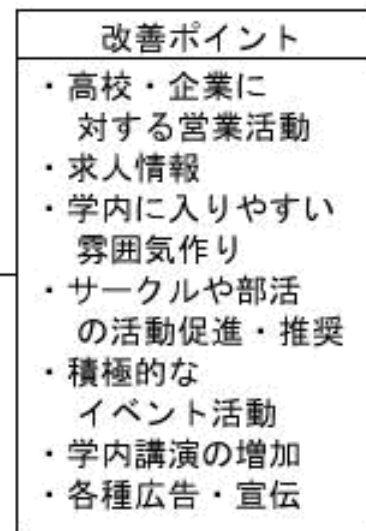
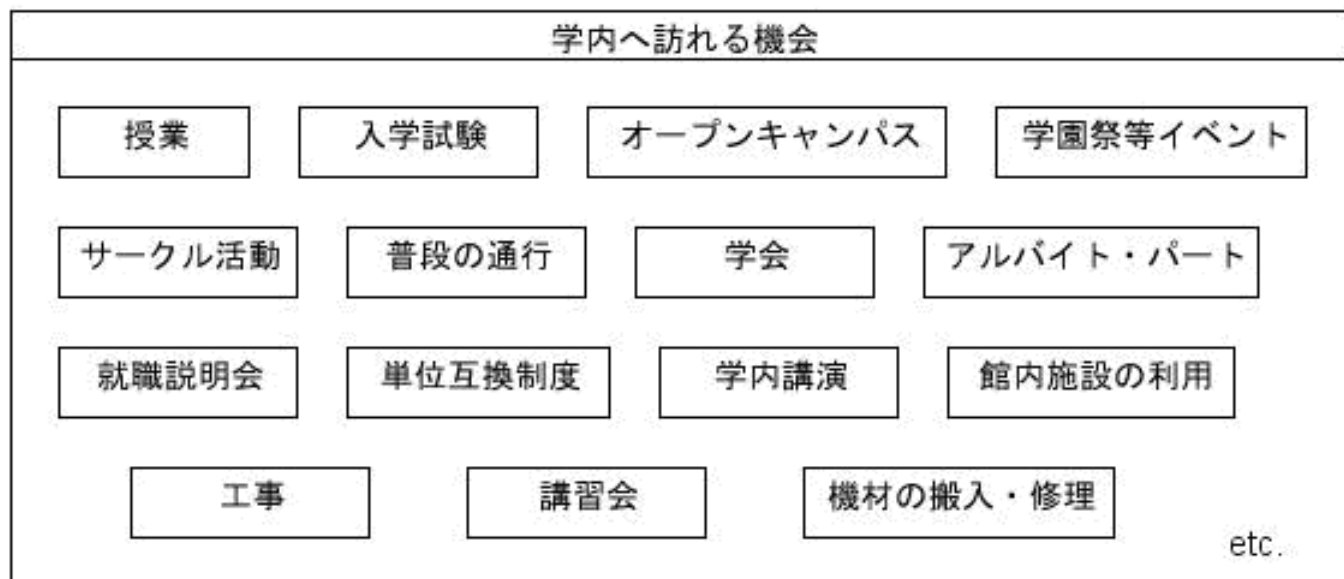
企業の方々



来賓の方々



来校する



予想される利益

そして興味を持たれ、より情報にめられる

研究内容は
利益に直結しやすい！

研究内容

入試情報

学内の雰囲気

イベント情報

人情報

学生の生活情報

学生の卒業後の進路

学会情報

就職情報

etc.

アプローチ

予想される利益

共同研究依頼の増加

地域貢献度の上昇

受験者数の増加

スポンサー企業の増加

社会貢献度の向上

etc.



概要

「研究内容」の情報アピールをするにあたり、

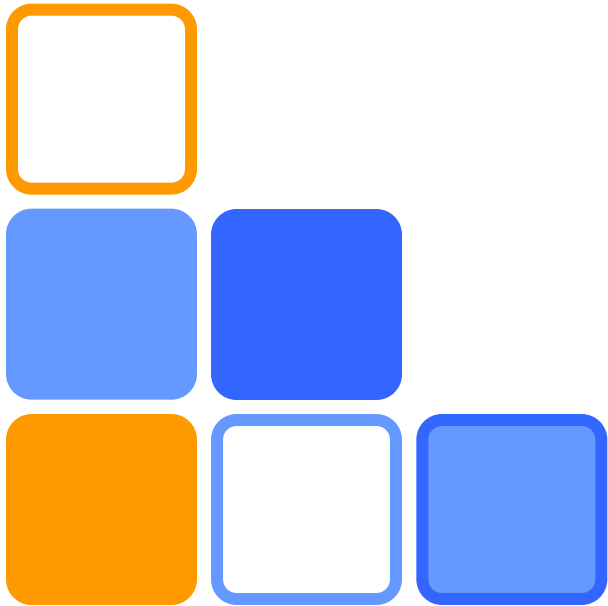
① **「惹きつける」ディスプレイ**
本来の目的外の情報にも
自然に興味を起こさせる

② **「知らせる」携帯コンテンツ**
研究室情報を与える

③ **「移動させる」新しい地図**
興味を持って学内施設への
スムーズな移動を手助ける

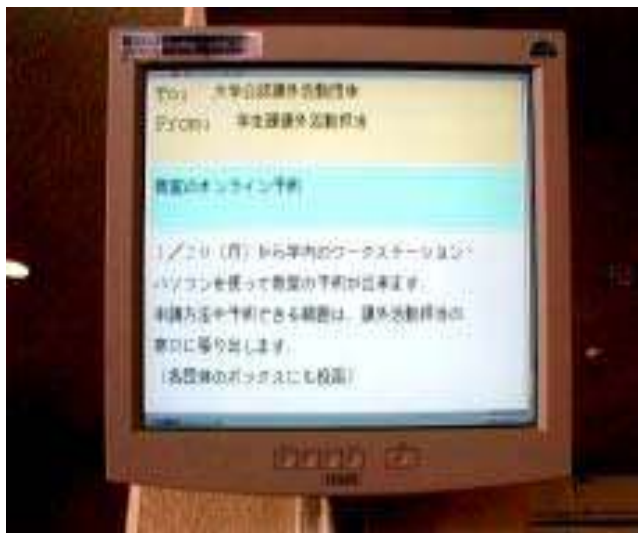
の3段階を踏まえる方法を提案する.

1. ディスプレイによる情報公開

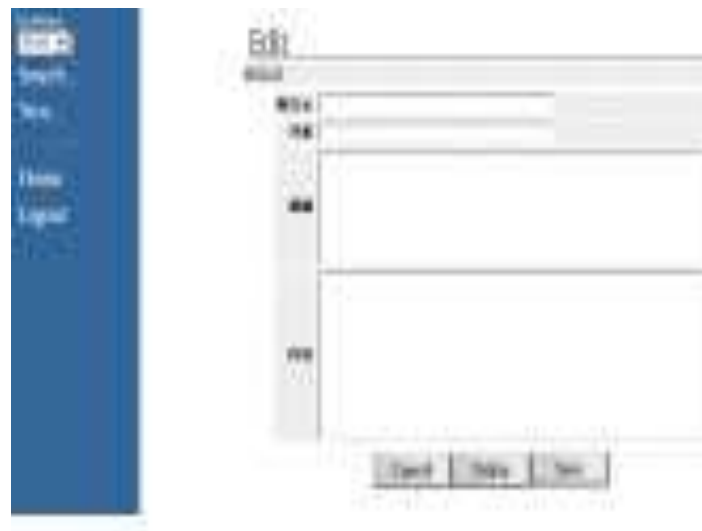


これまでの学内電子掲示板は？

- 発信元・対象・表・タイトル・内容が入力可能
- 各フィールドに文字数制限がある
- テンプレートも決まっている
- 書き込み日付順に並んでいる



実際の表示例



入力テンプレート



現在の電子掲示板の問題点

- 情報量が少ない

● 文

電子掲示板のプロジェクト自体が

● 生

立ち枯れ状態である

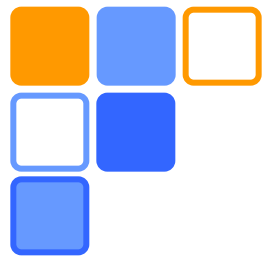
- 入力できる人が限定されている

- Web化の影響で閲覧者が少ない



今回のプロジェクトの方針

- 求められる情報を載せる
→各場所でのステークホルダーを考慮
- 目を惹く表示・場所を選択する
→電車の吊り看板を参考に画像も多く入れる
- QRコードとの連携
→画面で表示できない更なる情報を



電子掲示板の問題点

- 屋外ディスプレイの盗難・破壊の可能性
 - クリアケースに入れる
 - 人通りのある場所に設置する
- データ改竄の可能性
 - 研究室・掲載する大学側で二重にチェックをする.

著作権の問題等

- 著作権・肖像権

- 著作権は創作者の権利
- 写真を使う場合、前

著作権・肖像権の問題も同時にクリアできる

らない

- 研究室など掲載される側自身に

を作成をお願いします

ある

現状に即した情報の提供が可能になる

この問題

と管理する側

- いつ更新されるか、内容が

より正確な情報を提供でき、誤情報修正が容易



求められる情報はどんなものか

研究室が多く入っている棟

→ 各研究室の研究内容

フロア情報

企業の方, 1-3年生, 受験生 対象

人が多く集まる棟

→ イベント・講演会情報

学生団体からの掲載希望情報

在学生 対象

研究室紹介

西2棟3階323室



電子システム講座所属

教授：中野和司

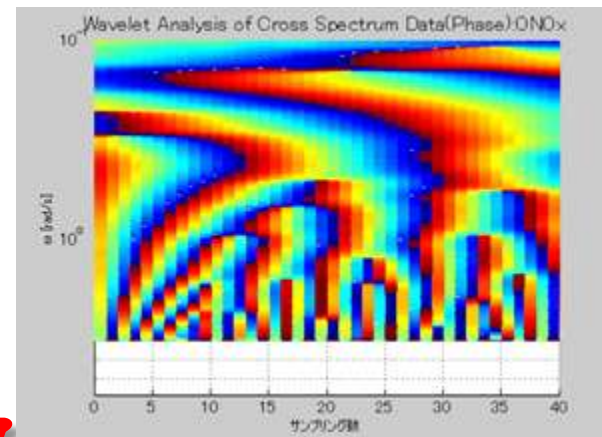
助教：桜間一徳

信号処理・制御・ロボットの

3つのグループに分かれ

研究をしている。

中野研究室



<http://www.ljung.ee.uec.ac.jp/>

研究室紹介

東G棟3階319室



電気通信大学 先端ワイヤレスコミュニケーション研究センター



山尾研究室

Advanced Wireless Communication research Center



先端ワイヤレスコミュニケーション研究
センター (AWCC) 所属

教授 : 山尾泰

准教授 : 藤井威生

ユビキタスワイヤレス (UBQ)

ワイヤレスエコ (WECO)

の2つの研究テーマがある



山尾研究室では**将来のワイヤレス通信**で必要となる**戦略的要素技術**と社会に貢献できる**実践技術**の研究・教育を行っています

<http://www.awcc.uec.ac.jp/yamaolab/>



西2棟紹介

西2棟は主に電子工学科の関係者が集う場所となっており、1階には電子工学科の事務室や就職相談室などもあります。6・7階は関係のある分野の情報通信工学科(C科)の階となっていますが、C科は西1棟と総合研究棟にも研究室を構えて居ますので興味のある方はそちらでの掲示もご覧ください。

電子工学科は西2棟以外にも西7・8棟等に居室を構えている先生方がおり、西2・7・8棟が電子工学科の棟と言えます。西7棟は独自の研究機関として少し毛色の違う研究をしていますので、詳しくはそちらでの掲示をご覧ください。

また、101、201等1・2階の一部の部屋は教室としても使われているため、電気回路や電磁気を学んでいる他学科の学生も見ることが出来ます。



西2棟入口外観



西7棟入口外観



101教室通路側入口
西2棟入口外観



西7棟紹介

西7棟はレーザー新世代研究センターとも呼ばれ、新しい時代を開く基礎となる、“光と原子”を制御することを目標として1999年に電気通信大学に設置された機関で、レーザーや原子光学のための国内唯一の研究施設として、様々な研究を行っています。また、学内共同教育研究施設であるため、電気通信大学内の全ての専攻の大学院生が入ることの出来る場所となっています。

また、毎週月曜日の午後4時から7階大会議室にて「お茶会」というセンター内のスタッフと学生が気軽に情報交換できる会を行っていて、レーザー研外部からの研究者を招いてのセミナー等も開かれています。
このセミナーは、レーザー研以外の方でも参加できますのでお気軽にご参加ください。

西2棟の紹介：各階の研究室

8階：早川研・安藤研・唐沢研・橋本研・桐本研 W.C. ♂

7階：肖研・矢加部研・西研・三橋研 W.C. ♂

6階：高橋研・張研・寺田研・福田研・田口研・細川研 W.C. ♀

5階：鎌倉研・富澤研・木村/一色研・本城研 W.C. ♂

西2棟の紹介：各階の研究室

4階：渡邊/岡田研・張研・田中(勝)研・中田/永井研・河野研

W.C. ♂

3階：名取/中村研・富田(康)研・中野研・鈴木研 W.C. ♂

2階：鎌倉研・和田研・木村/一色研・田口研・細川研・樋口研

W.C. ♀

1階：柏原研 W.C. ♂



オープンキャンパス 11/22(土)

受験生・高校生の皆さんに電通大をご案内する秋の大学説明会です。100以上の研究室も公開しています。キャンパスをご自分の目で確かめ、雰囲気を感じていただく絶好の機会です。入試や授業や学生生活について知りたいことや疑問点があれば、相談コーナーで何でも質問してください。（事前申し込みは不要です）

<http://www.uec.ac.jp/admission/dept/open.html>

●大学説明会 11:00～12:00

場所：B棟2階202教室

受付

10:00～11:00

大学概要説明

11:00～11:45

在学生からのメッセージ

11:45～12:00

●研究室公開 13:00～16:30

●相談コーナー 13:00～16:30

学科・教育研究内容相談コーナー

場所：各学科

入試・学生生活相談コーナー

場所：創立80周年記念会館1階

第58回調布祭

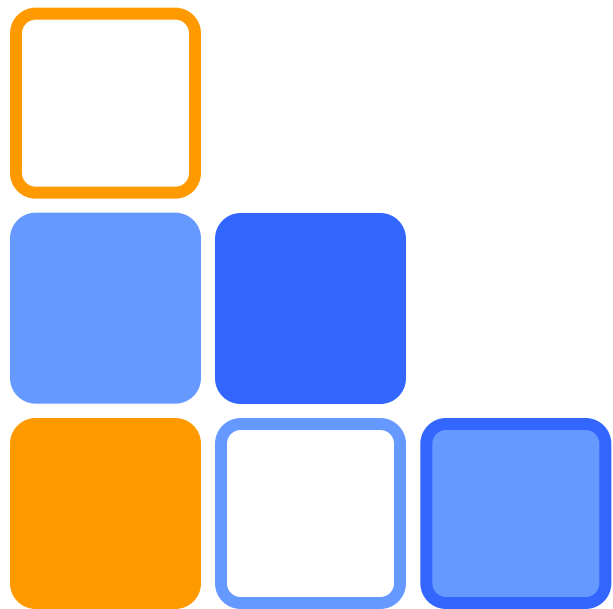
11/21(金)～23(日)

学生主催の恒例イベント調布祭。今年のテーマは「**創**」。日頃の研究やサークル活動の成果の紹介、多種多様な手作りの露天なども並びます。ご家族連れでお立ち寄りください。なお、近隣の方々にご迷惑をかけないように十分注意を払い開催してまいります。行き届かない点もあろうかと思いますが何とぞご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

<http://marucho.cyberlinks.co.jp/>



2. QRコードを用いた情報拡大



大学のこれまでの情報提供は？

これまでの大学の情報提供

PCサイトがメインで閲覧のためにはPC環境の必要性

閲覧のために、検索サイト等により調べる必要がある。

情報が学科や研究分野ごとにしか検索できない。

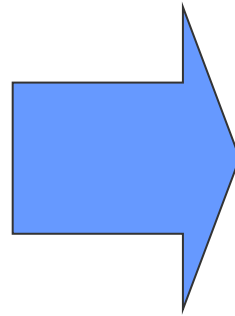
mobileサイトも学科によって存在するがアクセスの手間。

<http://www.ice.uec.ac.jp/>



1. mobileコンテンツ

- 普段から持ち歩いている携帯電話で情報を得られる
- 情報を持ったまま移動することが可能である



2. QRコードを使ったアクセス

- アクセスの手間を省く。以降はBookMarkでもアクセス可。



3. 効率のよい情報提供

自分のいる建物の

興味を持った研究室

総合研究棟建物案内

F1 付属図書館/情報基盤セン
F2 付属図書館/図書館入り口
E1 付属図書館

総合研究棟研究室

情報通信基礎学講座

太田・崎山研究室 情報セキュリティ

小田研究室 画像情報工学(画像処

小林(欣)研究室 情報理論, マルチ

散情報構造

山口研究室 情報理論, 誤り制御

ブライアン・クルカスキー研究室 情

情報通信システム学講座

来住研究室 光波・電磁波工学(光

藤野・小島研究室 無線通信システ

柳沢研究室 地球惑星物理学

情報メディア講座

高橋(治)研究室 学習機械, ニューラルネットワーク, 学習による音声画像処理

垂井研究室 学習機械, ニューラルネットワーク, 学習による音声画像処理

西野研究室 計算量理論, 量子計算, 認知計算

渡辺研究室 学習支援・超並列計算・ソフトウェア工学

中野研究室

<研究分野>

知能ロボット, 制御理論, 信号処理, メカトロシステム, モデル化, ウェーブレット変換

<研究室紹介>

ロボット班: RoboCup 小型ロボットリーグを題材にロボットの制御、画像データに基づく移動体の認識、人体の免疫システムを利用した自律移動ロボットの行動生成に関する研究を行っています。

制御班: ロボットマニピュレータの障害物回避、倒立振り子やアクロバットマルチロボットの衝突回避など、メカトロシステムの実用化に向けた制御手法を開発する研究を行います。また実験機を作成して検証

信号処理班: ウェーブレット信号処理について研究しています。ウェーブレットとは、フーリエ変換の時間依存版と考えてもらって、車載のエアバッグ起爆フィルタやモータの異常振動音検知などの研究室では信号源分離やシステム同定への応用を考えています。

<居室情報>

西2棟3階323号室

<実験室情報>

西2棟3階322号室

東5棟6階603号室

場所の情報





QRを用いたサイト閲覧の利点

1. その場所で、その瞬間に、できるだけ多くの人に

■ PCを多くの人がいつでもその場で使うことは困難

2.

QRコードを用いて携帯向けコンテンツを配信することで
大学の情報をその場で知ってもらえれば
電通大にもっと興味を持ってもらえるのではないかと

3. 効率のよい情報の提供必要性

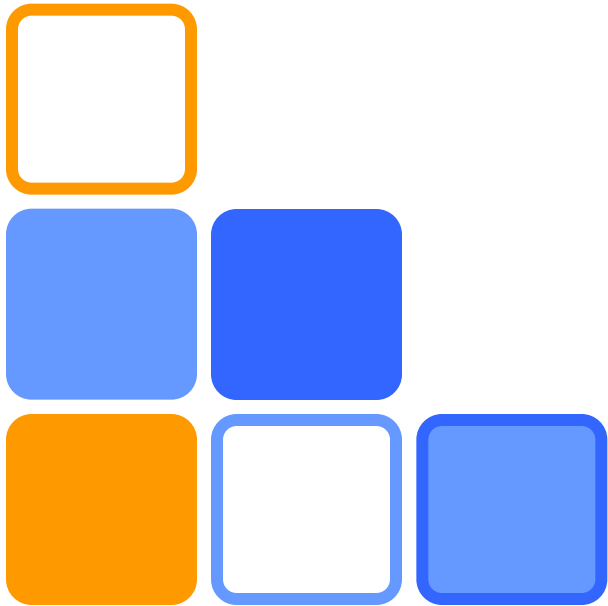
■ 近隣の情報、関連研究の検索、場所の検索、その他

→ 学内を効率的に見てもらうための情報の提供

用

3. 次の場所を連想させる

新しい地図





これまでの電通大の地図

- 地図がどこにあるか分からない
- 地図と関連情報が有機的につながっていない
- 方角があっていない
- 建物情報しかない





新しい地図の機能

□ 多彩な機能性を持つ地図

1. エリアの色分け
(カラーユニバーサルデザイン準拠)
2. QRコードとの連携
3. 地面に設置, 方角合わせ
4. 大通りと各棟の地面に設置
5. サインによる誘導

具体的には！



新しい地図の利点と目標

- 建物からの距離感が分かりやすい → 色分け
- 感覚的に方向が分かる → 地面
方向
- 迷いにくい → 携帯
色分け
- 行きたい場所が分かる → サイン

これならすぐ行ける！

と思わせるアフォーダンスの良いデザイン



新しい地図の種類

- 各棟前に配置する地図
- 大通りに配置する地図
- 誘導するサイン

具体的には！



各棟前に置く地図

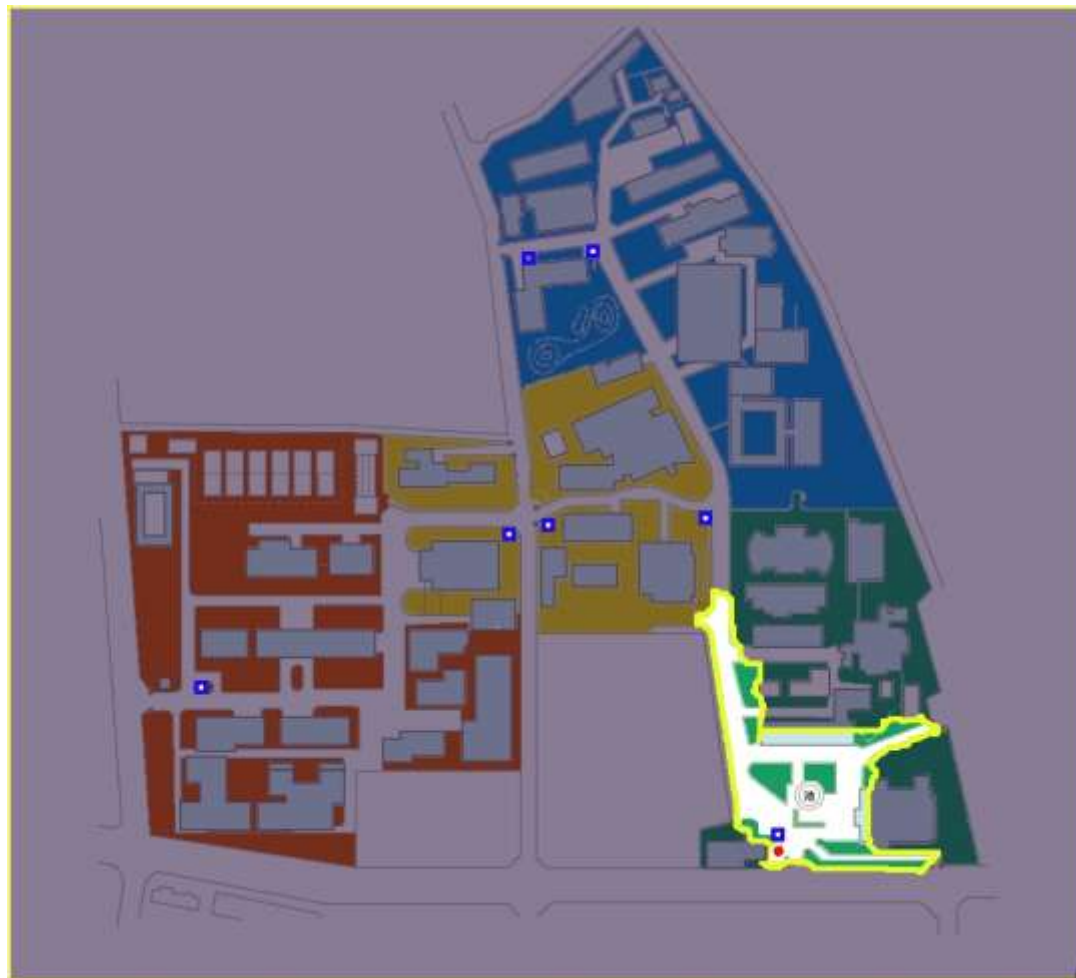
- 地面との合成画像を作成中です





大通りに置く地図

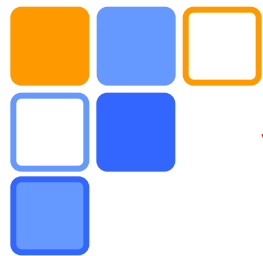
- 画像作成中です
 - 番号の追加
 - 背景色の変更
 - 柔らかい地図





サインを含む地図

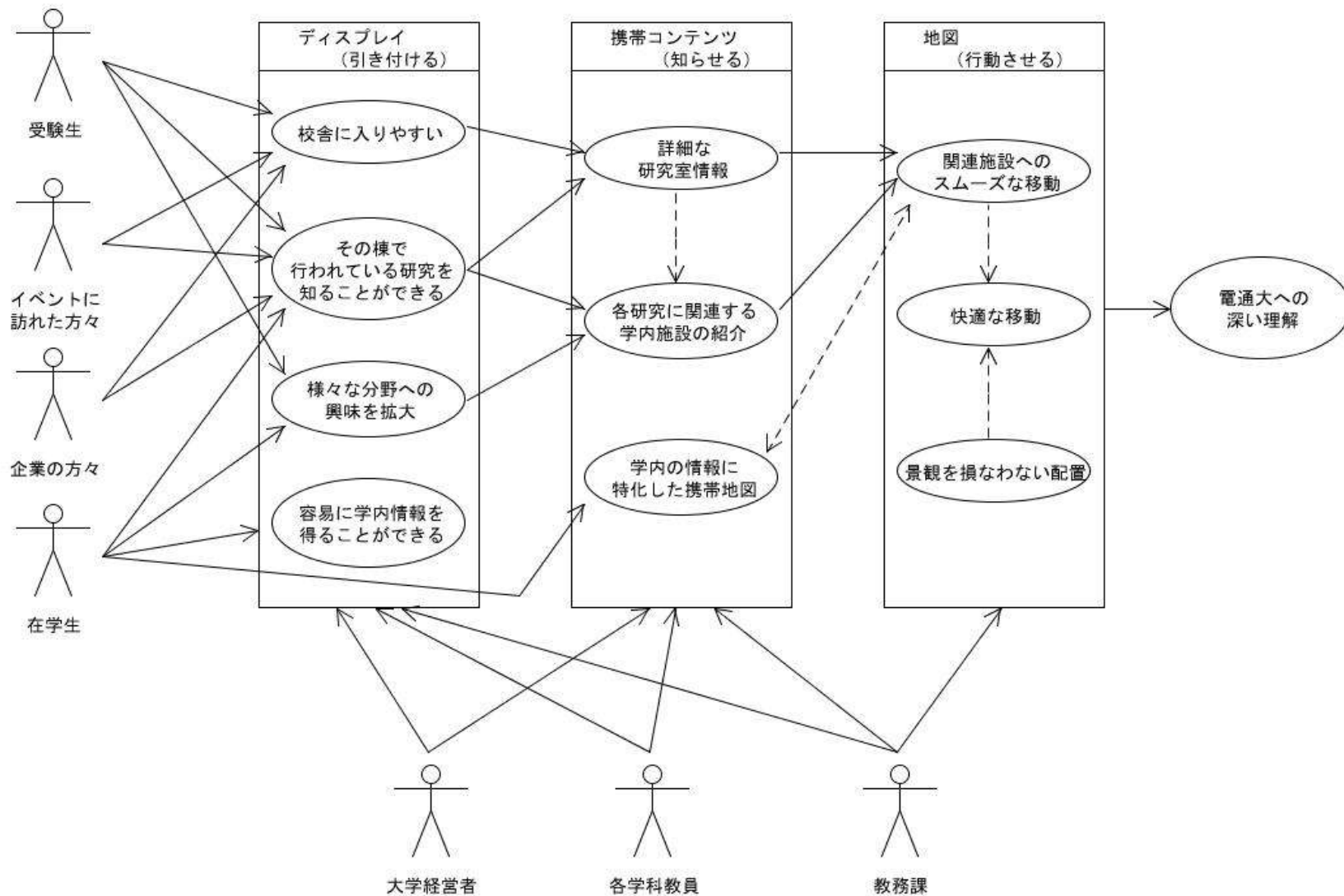
- 禁煙所から喫煙所の誘導をする地図を考えており，作成中です．

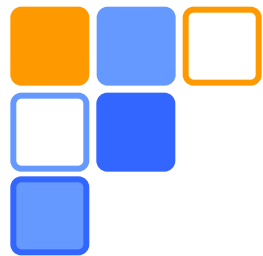


今後の課題

- 設備稼働率への寄与度の評価法
- 維持費の対策，予算の妥当性
- さらなるアクセサビリティ向上のための
デザインの精錬
- 地図，サインの配置の最適化
- ディスプレー，QRコードとの連携の向上

3つの関連性





Owari

現行の地図の管理とその問題

施設課(本棟4F)

破損などの際に業者を手配する決断ができる

財務課管財係(2F)

地図の破損、変更などの情報の窓口。

内容変更はその都度施設課に上げて対応する。

地図の予算は必要に応じて付き、時代のトレンドなどにも左右される。

委員会というものがない

学長、役員などの役員会で企画的なものは扱っている。

学科からの自己施設への要求は学科長を経由してこれにかける。

基本的にルールがなく問題があればその都度対応している



現在の予算管理

現行の地図の管理は必要に応じて都度対応
で必要経費のようになっている

→管理、運営は一律の予算を割きたい。

財務課と施設課が絡んでいる。

執行力のある施設課で運営

各学科との絡みはシステム化して運営

→外注なので今の部署で運営する。



新しい地図の妥当性（２）

□ 予算の妥当性

- 地図の費用

大通り5箇所、46施設。

施設の色分け→あるいは通路だけでも！

喫煙所と禁煙所を色で示すなど

□ コアコンピタンス強化のための必要経費

- ・研究室は電通大の強みである。

訪問者/資産で研究室を測る。

新しい地図は電通大の活性化を

これまでより意図的に進める一端を担う